

人本主義の理念経営

— いちばん「大切にしたい会社」に学ぶ —

株式会社シェアードバリュー・コーポレーション 代表取締役 小林 秀司

■「大切にしたい会社」がいちばん大切にできるもの

重視する経営要素は人・人・人、追求するのは理念、極大化目標はモチベーションなど、“日本でいちばん大切にしたい会社”が最も大切にしているのは従業員満足であり、その経営のあり方は、資本主義でも成果主義でもない、人本主義の理念経営と言い表せられる。だが、その実態はこれまでの延長線上というより、これまでのあり方を超越したところにあるようで、なかなか一般的な理解が及びにくい。単に人を大切にできる経営というレベルではなく、徹底して人を大切に続けることで自ずと経営のあり方が純化していくというイメージかもしれない（本来あるべき姿との見方もできる）。

そこには杳とした時代の経営人事に一筋の光明を照らすものとして期待がかかるが、既存の理論や常識とは次元を異にするのであれば、事例研究による解説記事が読者理解にいちばん適するものとして、このたび本稿はまとめられた。筆者が直接取材した10社のモデル事例から、読者各社の人事政策にまつわる閉塞感を少しでも払拭できるヒントを得ていただければ幸いである。（編集部）

構成

「大切にしたい会社」の共通キーワードは人本主義の理念経営
「大切にしたい会社」では労働紛争が発生する余地がなくなる

- 事例1 川越胃腸病院（埼玉県川越市）
～ 理念経営成功の典型的モデル
- 事例2 株式会社沖縄教育出版（沖縄県那覇市）
～ 究極の理念経営、純度高い人本主義
- 事例3 巢鴨信用金庫（東京都豊島区）
～ ここまでできた理念経営
- 事例4 株式会社オオゼキ（東京都豊島区）
～ 他社が模倣できないスーパー
- 事例5 株式会社ライブレボリューション（東京都港区）
～ 新卒人気No.1企業
- 事例6 エスエムジー株式会社（神奈川県横浜市）
～ 社員理念のある会社
- 事例7 株式会社カクヤス（東京都北区）
～ 業界の常識は疑え
- 事例8 ネットトヨタ南国株式会社（高知県高知市）
～ 社員の幸せ度とは何か
- 事例9 株式会社たご満（静岡県菊川市）
～ 一人を大切にできる愚直な理念経営の実践
- 事例10 有限会社バグジー（福岡県北九州市）
～ 人本主義のお手本

人本主義の理念経営を導入する上での注意点
人本主義の理念経営を実践していく手がり～理念研修のすすめ

■小林秀司（こばやし・ひでし）

社会保険労務士 株式会社シェアードバリュー・コーポレーション（SVC） 代表取締役。

1960年、東京都生まれ。大学卒業後、教育出版社を経て、株式会社日本マンパワーでキャリア開発事業責任者に従事。1997年に独立し、SVCを設立。また、「SVC社会保険労務士起業塾」を主宰し、多くの開業社労士の支援をする。現在、「理念経営のすすめ」を社会保険労務士の中核事業にして邁進中。2009年4月より法政大学大学院政策創造研究科の坂本光司研究室で修士課程専攻中。モチベーション研究会、価値ある企業の指標研究会、障がい者雇用研究会の事務局を歴任。坂本光司著「この会社はなぜモチベーションが高いのか」（商業界）の事例執筆を担当。2010年6月「元気な社員がいる会社のつくり方～「日本でいちばん大切にしたい会社」から学ぶ理念経営」（アチーブメント出版）を上梓した。

twitterアカウント/kobhid サイト/http://www.keiejinji.com/（「経営人事」で検索） メール/kobhid@sharedvalue.co.jp